



フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

設定日 2015年8月10日 決算日 原則 8月10日

追加型投信／海外／株式
2021年10月29日現在

基準価額の推移(2015年8月10日～2021年10月29日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

10月末	前月比	9月末
17,389 円	7.4 %	16,187 円

基準価額の騰落率

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

1ヵ月	7.4 %
3ヵ月	7.8 %
6ヵ月	3.9 %
1年	51.8 %
3年	50.9 %
5年	107.1 %
設定来	73.9 %

資産構成

内訳	10月末	9月末
外国株式	93.4 %	94.0 %
外国投資証券	2.9 %	2.7 %
その他資産	3.7 %	3.3 %
純資産	19,895 百万円	17,394 百万円
元本	11,441 百万円	10,746 百万円

分配金の推移 (1万口当たり、税引前)

2021年8月	0 円
2020年8月	0 円
2019年8月	0 円
2018年8月	0 円
設定来合計	0 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

2021年10月29日現在

外国株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

銘柄名	セクター	比率	銘柄解説
1 MEDPACE HOLDINGS INC	ヘルスケア	4.1%	受託臨床試験機関。臨床研究を実施し、新薬や医療機器の開発サービスを提供する。
2 PIPER SANDLER COMPANIES	金融	3.1%	金融サービス会社。個人や法人向けに投資銀行業務やM&A助言、資金調達などの金融サービスを提供する。
3 FORMFACTOR INC	情報技術	3.1%	最先端ウェアハブプロブカードの設計・開発・製造会社。デジタル家電に組み込まれている半導体の製品良否を判定する検査装置であるプロブカードを主として取り扱っている。
4 PAYCOM SOFTWARE INC	情報技術	2.9%	ソフトウェア会社。企業が管理する、採用から退職までの雇用ライフサイクル向けの機能とデータ分析を手掛ける。
5 BUILDERS FIRSTSOURCE INC	資本財・サービス	2.8%	建築資材メーカー。主に住宅建設会社に建築資材を提供する。
6 CLEVELAND-CLIFFS INC	素材	2.4%	鉄鋼メーカー。ペレットや熱間成形還元鉄などの製造に従事する。
7 SERVISFIRST BANCSHARES INC	金融	2.4%	ServisFirst Bankの持株会社。米国アラバマ州及びその他近隣地域において、個人・商業向けに銀行サービスを展開する。
8 SEMTECH CORP	情報技術	2.4%	半導体メーカー。高品質なアナログ、ミックスド・シグナル(アナログ信号とデジタル信号が混在した回路)半導体製品を提供する。
9 MYR GROUP INC	資本財・サービス	2.3%	電気インフラ事業請負会社。送電や配電設備の整備を手掛ける。
10 INSTALLED BUILDING PRODUCTS INC	一般消費財・サービス	2.1%	米国の住宅用断熱材販売会社。ガレージドア、シャワードア、クローゼット棚や鏡などの住設資材製品の設置も手掛ける。
組入上位10銘柄合計比率		27.5%	株式等組入銘柄数 96銘柄

- ・比率は、純資産総額に対する割合です。
- ・比率は、小数第2位を四捨五入した数字です。
- ・セクターは、世界産業分類基準(GICS)です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



アセットマネジメントOne株式会社



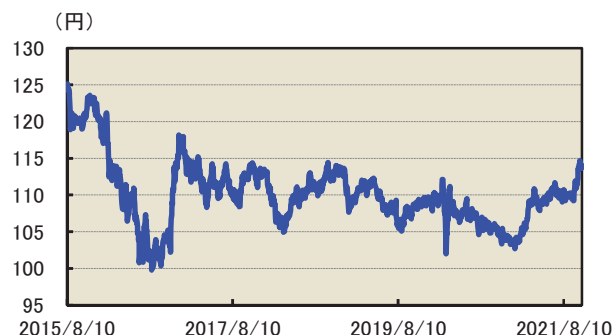
フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

2021年10月29日現在

外国株式等組入セクター比率

セクター	構成比
1 ヘルスケア	21.4%
2 情報技術	20.4%
3 金融	17.0%
4 資本財・サービス	15.5%
5 一般消費財・サービス	9.3%
6 エネルギー	6.2%
7 素材	5.4%
8 不動産	3.0%
9 コミュニケーション・サービス	1.0%
10 生活必需品	0.9%

為替(米ドル/円)の推移(設定来)



- ・構成比は、組入株式等全体を100%とした割合です。
- ・構成比は、小数第2位を四捨五入した数字です。
- ・為替は、三菱UFJ銀行発表の数字です。
- ・為替は、参考のため掲載しているもので、当ファンドで組み入れる外国株式等の将来の運用成果や市況変動を示唆するものではありません。
- ・セクターは、世界産業分類基準(GICS)です。

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

月間の運用経過

10月の米国株式市場は上昇しました。債務上限問題への懸念が後退したことや、大手企業の比較的良好な業績発表などが材料視されました。業種ではエネルギーや一般消費財・サービスなどが物色された一方、生活必需品やコミュニケーション・サービスなどの劣後が目立ちました。スタイルでは、グロース銘柄が比較的好まれる傾向が、バリュー銘柄が劣後しました。大型株を含む市場全般は月間で上昇しましたが、当ファンドの投資対象であるマイクロ株を含む中小型株は相対的に上昇幅が限定的となりました。また、マイクロ株ではバリュー銘柄も選好されました。保有銘柄では、好調な業績を発表した受託臨床機関のメドペース・ホールディングスなどが上昇しました。一方、比較的良好な業績を発表するものの、利益確定目的とみられる売り圧力が生じた医療関連会社のメリット・メディカル・システムズなどが下落しました。当月は、業種配分等において、概ねポジションを維持しました。

今後の運用方針

新型コロナウイルス向けのワクチン投与が進み接種者数が確実に増加し行動規制もやや緩和的となってきましたが依然として新型コロナウイルスの感染問題は収束していません。ただし、米国経済や企業業績の回復期待、物価上昇圧力がやや高まっているもののFRB(米連邦準備制度理事会)は緩和的な姿勢を徐々に解消させるとの見通しなどを材料に、投資家のリスク許容度は引き続き高く、米国マイクロ株式市場はさらなる上昇に向かうと見えています。また、潤沢なキャッシュを有する企業によるM&A(合併・買収)の活発化なども株価上昇のドライバーになると考えています。こうした想定のもと、当ファンドにおいては、安定的な収益成長率を期待でき、かつ健全なバランスシートを有する銘柄を厳選し、投資する方針です。セクター別では引き続き情報技術などへの組入れを高めとする方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

当ファンドは、主として米国の株式に投資します。組み入れた株式の値動きや、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

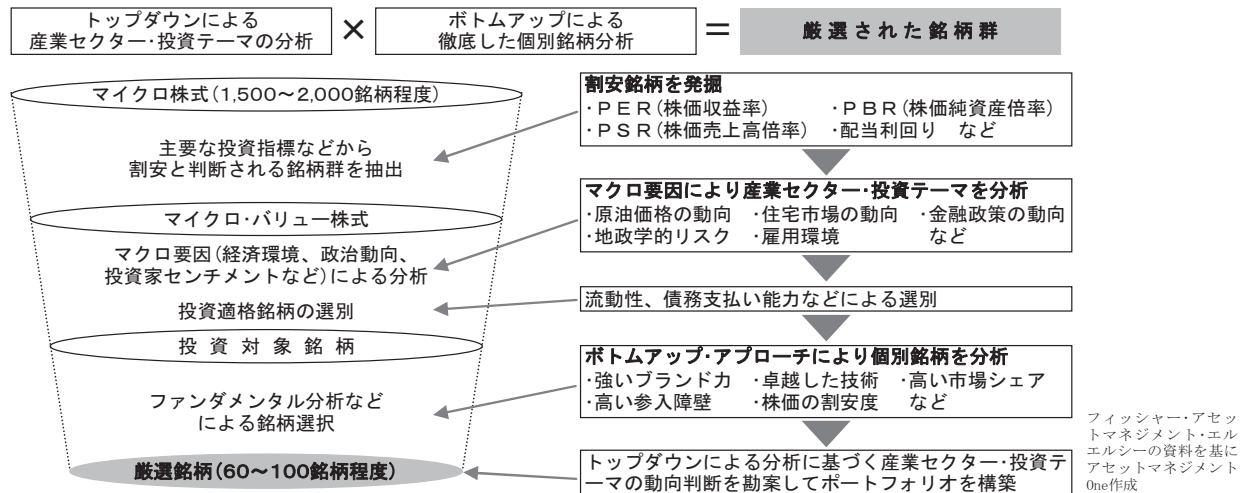
1. 米国マイクロ株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。

- ◆主として米国の金融商品取引所に上場する株式(上場予定を含みます。)のうち時価総額が特に小さいマイクロ・キャップの株式(マイクロ株式)に投資します。
- ◆株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。
- ◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※当ファンドにおける米国マイクロ株式とは、米国の金融商品取引所に上場する株式の時価総額順において、およそ2,000位よりも下に位置する時価総額が特に小さい銘柄を指します。これは当ファンドにおける定義であり、一般的な定義とは異なる場合があります。
※時価総額の変動などにより、当ファンドが保有する株式がマイクロ株式から外れる場合があります。

2. 主要な投資指標などから割安と判断される銘柄群のなかから、長期的に値上がりが期待できる銘柄に分散投資を行います。

- ◆ポートフォリオの構築にあたっては、米国の経済動向や各産業セクター動向を調査・分析するトップダウン・アプローチおよび個別企業の業績や競争力などを精査するボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行います。
- ◆株式の運用指図に係る権限をフィッシャー・アセットマネジメント・エルエルシーに委託します。

<運用プロセス>



※運用プロセスは、予告なく変更される場合があります。マクロ要因による産業セクター・投資テーマ分析や、ボトムアップ・アプローチによる個別銘柄分析に関する記載は例示であり、これらに限られるものではありません。

3. 原則として、年1回(毎年8月10日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

- ◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
- ◆分配金額は、基準価額水準や市況動向などを勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。





フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

主な投資リスクと費用（くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください）

当ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。一般的にマイクロ・キャップの株式は、株式市場の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があるため、株価変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。一般的にマイクロ・キャップの株式は、株式市場の平均に比べて時価総額が小さく取引量が少ないため、流動性リスクが相対的に高くなる可能性があります。
信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる場合があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆収益分配金に関する留意事項◆

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。



フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みを取り消す場合があります。
信託期間	2025年8月12日まで(2015年8月10日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権の総口数が30億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年8月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率2.035%(税抜1.85%) ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※委託会社の信託報酬には、当ファンドの株式の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(フィッシャー・アセットマネジメント・エルエルシー)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.8%)が含まれます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 監査費用は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。





フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
[ファンドの運用の指図を行う者]
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行う者]
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>フィッシャー・アセットマネジメント・エルエルシー
[運用指図に関する権限の一部委託を受け、株式の運用指図を行います。]

◆委託会社の照会先 ◆

- アセットマネジメントOne株式会社
コールセンター 0120-104-694
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>



フィッシャーUSマイクロ株式ファンド

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2021年11月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)